



G-ACTION 2030

2025 年度



## D ライセンスコーチ養成講習会 東濃コース 報告書

日 程：2026年3月14日（土）  
場 所：講義会場・とうしん学びの丘”エール”多目的室  
実技会場・とうしん学びの丘”エール”芝生広場  
参 加 者：31人  
チューター：今井 隆治 ・ 西尾 真央 ・ 小畑 正樹

### 【参加者の感想】

- ・講習会ありがとうございました。選手への寄り添い、正しい知識を持って指導する大切さを学びました。自分も選手、子ども達と一緒に成長させてもらっているという事を忘れず指導していきます。岩松忠典さん(FCポルティス)
- ・プレイヤーファースト、オープンマインド、正しい事を伝えるという事の大切さを知った。子供に言うだけでなく自らも行動を律する事が重要というのは響いた。保護者として受けたが、楽しい講習会で子供と関わることの楽しさも学べ、指導者になりたいと思えた。水口裕介さん(高山新宮SS)
- ・分かりやすく楽しい講義でした。子供との関わり方や技術の教え方などを具体的に学ぶことができた。今後に生かしたいと思います。大平和輝さん(FCオリベ多治見)
- ・大変になりました。指導者とはどうあるべきかが分かりよかったです。指導者は全員受けていただきたいと思いました。鈴木悠介さん(下有知FC)
- ・オープンマインドという言葉が今後も日々の生活からも意識したいと思いました。また考える力も養える様にオープンドクエスチョンを行っていきたいと思いました。ありがとうございました。肥田元弥さん(瑞浪スパローズ)
- ・技術面の指導において、「構成要素」で伝えるということを学びました。今までは、伝える中で言語化されてない所でしたので、学べて良かったです。加藤明さん(美濃SSS)

### 【担当チューターより成果と課題】

東濃コースのスローガンである「日本一楽しい講習会」を目指しながら、Dライセンス本来の目的である『指導に触れる』を意識して開催しました。セーフガーディングを学び、ディスカッションや実技を通して、プレイヤーファーストの考え方やオープンマインドで向き合う姿勢、正しい知識を持って伝えることの重要性を感じていただけたのではないかと思います。

指導とは一方的に教えるものではなく、選手と共に悩み、考え、成長していくものであること、問いかけを通して考える力を育てる大切さなど、多くの学びが生まれた講習会となりました。技術面においても、「構成要素」で分かりやすく伝える視点に触れ、日々の指導を見つめ直すきっかけになったのではないかと感じています。今回の経験が、日々の指導や選手・子どもたちとの関わりの中で活かされ、皆様の現場での小さな積み重ねが大きな成長へとつながっていくことを願っています。31名の受講者の皆様、そしてチューター仲間に心より感謝いたします。

今井 隆治

### 【講義・実技の様子】



報告日：2026年3月17日 作成者：今井 隆治